

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2018年12月28日

保護者アンケート回収率 76.66% (保護者の評価欄は回収分で占める割合です)

事業所名: すまいる・きつず曾根

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員は10人ですが、体操やダンス、サーキット遊び等の身体活動にも十分な広さを確保し、有効に使えています。また学習は静かな環境で行えるよう、別室で行うようにしています。	はい…91.3%    どちらともいえない…8.7% ・定員いっぱいになるとダンスなどには少し狭いと思う。	送迎や面談で来訪して下さった時や、親子行事など実際に児童が過ごしている環境を見て頂くようにしていますが、今後もそのような機会を増やしていきます。
	2 職員の適切な配置	基準以上に人員を配置し、安全に過ごせるようにしております。	はい…82.61%    わからない…17.39%	項目1と同様、送迎や面談で来訪して下さった時や、親子行事など実際に児童がどのように過ごしているかを見て頂くようにしていますが、今後もそのような機会を増やしていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	2階で療育を行っているため階段を上る必要があります。児童が階段を上る時や介助する際には、十分に配慮するようにしています。2階の療育室や学習室、トイレ等については、バリアフリー化出来ています。また各部屋に視覚支援カード等を配置するなど、児童がスムーズに行動出来るよう環境整備を行っています。	はい…78.26%    どちらともいえない…8.7% いいえ…4.34%    わからない…8.7% ・階段が急で少し不安です。	安全により配慮した事業所作りを目指し、現在も移転先を検討しています。今後も安心して通所していただけるよう、環境整備についても取り組んでいきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	職員業務マニュアルを作成し、環境整備に漏れがないよう日々丁寧に清掃等を行っています。また訓練用道具や玩具などは毎日消毒しております。	はい…91.3%    どちらともいえない…4.35% いいえ…4.35% ・階段も丁寧に掃除してあり感心しています。	今後も清潔に心地よく過ごせる生活空間の確保が出来るよう、心がけていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の業務の振り返りを行ったり、月に一度のスタッフ会議やケース会議に全従事者が集まり、積極的に意見交換し改善につなげています。		今後も継続して取り組んでいきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2017年3月に第三者評価機構による評価を受けました。評価内容はセミナーを開催し、全従事者で確認し業務改善につなげています。		今後も定期的に第三者による外部評価を受け、業務改善の実施を行っていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部研修だけでなく兵障協などの外部研修にも積極的に参加しています。また、研修以外にも毎月スタッフ会議等で、研修内容の発表・共有をし、日々の支援に取り入れるようにしています。		内部研修については、年間計画を立て着実に取り組んでいきます。また外部研修についても引き続き積極的に参加し、職員の資質の向上と日々の支援に生かせるよう取り組んでいきます。
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	モニタリングを行い児童・保護者のニーズも確認し、ケース会議で更に課題を分析しています。その後、放課後等デイサービス計画を作成し、保護者との面談で説明・調整し計画に同意を頂くようにしています。		今後もアセスメントを行い、児童と保護者のニーズを確認しながら課題分析し、放課後等デイサービス計画を作成していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	<p>具体的な支援目標の中に、児童の状況に応じ、個別・集団活動を組み合わせた内容を計画に盛り込み、支援につなげています。</p>	<p>はい…100%</p> <p>・よく分析されている。</p>	<p>今後も児童の状況に応じ、個別活動と集団活動を組み合わせた内容を盛り込み計画を作成していきます。</p>
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	<p>発達支援・家族支援・地域連携など大項目を決め、それぞれに具体的な目標を設定し、支援内容や留意事項・支援期間などを記載しています。</p>		<p>今後も具体的な目標や支援内容、留意事項や支援期間などを継続して記載していきます。</p>
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	<p>放課後等デイサービス計画に沿った支援が出来るよう、保護者に同意を頂き次第、児童発達支援管理責任者が全職員に説明し、計画内容の把握が出来るようにしています。また計画内容を、個別記録表(フローシート)に記載し、日々計画内容を確認しながら支援出来るようにしています。</p>	<p>はい…100%</p>	<p>今後も放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援を行っていきます。</p>
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	<p>スタッフ会議において、チーム全体で活動プログラムを立案しています。その後、活動毎に計画書を作成し、取り組んだ結果や改善点などを報告書に残しています。</p>		<p>今後もチーム全体で色々な視点からプログラムを立案していきます。</p>
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	<p>平日授業後と休業日ではサービス提供時間が異なります。利用状況や天候によって随時プログラムを立案し支援しています。長期休暇には、児童の経験を増やすため、就労施設見学や工場見学、ドライブや映画上映体験、買い物学習などを取り入れています。</p>	<p>はい…100%</p> <p>・項目7 室内のものから、お出掛けなど多岐にわたっています。</p>	<p>今後も、平日、休業日の時間に合わせたプログラムを立案し支援していきます。また長期休暇には、外出プログラム等を取り入れ児童の経験を増やし、共に楽しい時間を過ごし成長につながるよう支援していきます。</p>
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	<p>制作や学習、訓練だけでなく、サーキット遊びや音楽体操、ラジオ体操等の身体活動を取り入れたり、音楽療法(月2回)や絵画教室(月1回)など外部講師に来て頂いています。ハンドベルや太鼓などの楽器演奏を行うなど表現活動も取り入れています。</p>		<p>今後も固定化しないよう、様々なプログラムを取り入れています。</p>
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	<p>時間を決めて、職員全員でミーティングを行っています。各プログラムの担当者・内容・支援目標などを決め、児童を受け入れる準備を行っています。</p>		<p>今後も継続して取り組んでいきます。</p>
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	<p>職員全員で振り返りを行っています。児童・指導員の良かった点、悪かった点、改善点・ヒヤリハット等を話し合い、次回の支援に生かせるよう記録に残しています。また保護者からご連絡頂いた内容などを報告し、情報共有出来るようにしています。振り返りの記録は、翌日出勤した職員も必ず確認し、情報共有するようにしています。</p>		<p>今後も継続して取り組んでいきます。</p>	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援の内容は、個別記録表(フローシート)に記録しています。その記録をもとに、モニタリングやケース会議を開催したり、支援計画の立案に役立てています。		今後も継続して取り組んでいきます。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングやケース会議を行い、保護者に内容を説明しています。その際、家庭での状況をお聞きし本人・保護者のニーズも盛り込みながら放課後等デイサービス計画を見直すようにしています。		今後も継続して取り組んでいきます。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	保護者・相談支援専門員・関連事業所・学校などと連携し統一した支援が行えるよう、サービス担当者会議へは積極的に参加させて頂いています。基本的に児発管が参加していますが、必要な時には直接支援している職員も同行しています。		今後も保護者・相談支援専門員・関連事業所・学校などと連携しながら統一した支援が行えるよう、児発管・直接支援している職員で参画していきます。
	2 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援事業を休止しておりますので、現在は行っていません。		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	在籍児童の最高学年が中学1年生で対象者がいないため、行っていません。		学校を卒業する児童が在籍する場合には、必ず保護者に確認のうえ、本所での支援内容等についての情報を提供していきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	支援学校や療育センター等の研修のお知らせを受けた際には、全職員に周知し受講を促進しています。		今後も研修のお知らせを受けた場合には、積極的に受講を促進していきます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童発達支援事業を休止しておりますので、現在は行っていません。	はい…52.17% どちらともいえない…13.04% いいえ…8.7% わからない…26.09%	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は行っていません。 ただ地域の方への発信として、児童の作品を高砂市の「万燈祭」に毎年出展させていただいたり、ユーアイ帆っとセンターに掲示させていただいています。		今後は、地域に開かれた事業の運営を行うため、保護者に確認しながら地域住民の招待などを検討していきます。	
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容・利用者負担等については重要事項説明書に記載し、契約時に内容を説明しております。	はい…100%	今後も継続して取り組んでいきます。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時に放課後等デイサービス計画を作成し、また6か月に1回(必要な際には随時)計画を見直し、児童発達支援管理責任者から説明を行っています。	はい…100%	今後も継続して取り組んでいきます。	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	通所日に持参して頂く連絡帳を通して成果のあったことをお伝えしたり、送迎時や面談時等に直接お伝えしています。	はい…65.22% どちらともいえない…21.74% わからない…13.04%	・学校での担当者会議に出席し、子どもとの関わり方を考えてくれているので嬉しい	今後は現在の取り組みに加え、講演会や勉強会などを企画し、共に学ぶ機会を設けていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	通所日の児童の状況や課題について、連絡帳や送迎時にお伝えしています。またモニタリングの結果を直接お伝えし、共通理解が出来るようにしています。	はい…100%		今後も継続して取り組み、共通理解が出来るようにします。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	定期的な面談だけでなく相談には随時対応し、保護者の思いに寄り添うようにしています。また必要な時には学校や相談支援専門員、関連事業所と連携し対応出来るようにしています。	はい…100%		今後も保護者の思いに寄り添いながら、継続して取り組んでいきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会は年1回開催しています。また年2回親子行事等を行い、保護者同士の交流が出来るようにしています。	はい…78.26% どちらともいえない…21.74%		現在の取り組みに加え、保護者同士の連携が出来る取り組みを検討していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情・相談マニュアルを作成し、迅速かつ適切に対応出来るようにしています。 契約時には、本所だけではなく行政機関を含めた苦情窓口を必ず保護者にご案内するようにしています。	はい…86.96% わからない…13.04%		契約時だけではなく、今後は定期的に保護者会などで苦情窓口の説明を行い、周知していきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	支援の際には、言葉だけでなく絵カードや手話、マカトンサインを使って視覚的に理解しやすい方法で意思の疎通や伝達を行っています。保護者への連絡は、連絡帳やお便り等の文書、電話などで行っています。	はい…100%		今後も児童それぞれに意思疎通ができ穏やかに過ごせるよう継続して取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回お便りを発行し、文章だけでなく写真を取り入れた活動内容の報告や、今後の行事予定、書類についてのお知らせ等を掲載しています。	はい…100% ・毎月いただける写真付きのお便り。毎回とても楽しく見せて頂いています。	継続して取り組んでいきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	事業所建物の施錠だけでなく、書庫などの施錠を行い、取扱いについては契約時に書面で同意を頂くようにしています。また写真の取扱いについても事前に同意を頂くようにしています。	はい…100%	今後も個人情報の取扱いには十分に配慮していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルの策定は行い、研修を行うなど職員への周知は行っていますが、保護者への発信には至っておりません。	はい…77.27% わからない…22.73%	今後も各マニュアルの周知徹底が出来るよう、保護者会で説明したり、事業所で閲覧できるよう環境整備していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難出来る力を身につけるため、日々の活動の中に、集団行動を取り入れています。今年度は8月に火災避難訓練を行い、1月には地震避難訓練を行う予定です。また様々な災害に対応出来るよう、8月末には児童・職員で加古川防災センターに行き、地震体験や煙避難体験、水消火器での消火体験を全員取り組みました。12月末の親子行事において、親子で避難訓練を行い有事の時の対応などを懇談の時に話し合いました。	はい…77.27% わからない…22.73%	今後も継続して様々な災害に対応できるよう、多様な災害を設定した訓練を行っていきます。またその内容を連絡帳やお便りを通じて報告していきます。(今年度11月以降の計画書には避難先などを明記し、面談時に対応方法についても説明を行っています。)
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	社内でも会議や日々の振り返りで話し合う機会を意識的に持つようにしています。また外部研修にも積極的に参加し虐待防止に努めるようにしています。		今後も社内・社外研修を積極的に参加し、職員全体で日々意識をしながら支援していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	会議で確認・検討し、放課後等デイサービス計画に記載するようにしています。また計画への同意を頂く際に、その内容を説明し同意を頂くようにしています。		継続して取り組んでいきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時のアセスメントや面談時に、アレルギーの有無や対応方法を必ず保護者に確認しています。現在は対象児童は在籍していませんが、薬の飲み合わせ等に配慮する児童は在籍していますので、保護者に確認のうえ(処方箋のコピーを頂くなど)、職員に周知し対応しています。		継続して取り組んでいきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があった際には、職員全員で把握し今後の支援に生かすようにしています。また事例集はファイリングし、いつでも職員が見られるようにしています。		今後も安全に安心して過ごせるよう継続して取り組んでいきます。